



★7月部会は鹿ヶ谷基地の里山の木々の緑が濃く輝き、午前はクマゼミ、午後はヒグラシが鳴き出し、時折スズメ蜂、トンボが飛来する鹿ヶ谷公園の中、基地周りの雑木の整理、クラフト部材の製作と、間伐材の製材・ゆうゆう木育クラフト（竹プロペラ）部材製作、部員各自の趣向による作品作り（磯貝さん趣向のF-1カー8台完成）を行いました。今後も楽しく集い活動出来たらいいなと感じた7月でした。

8月も参加者のそれぞれの好みによる創意工夫したクラフトを、部員各自の考案と木工技術のスキルUPを図る取り組みをしていきます。また、各部会と連携しての作業にも取り組んでいます。里山部会の活動の場である妙國寺における納屋の整備（スクウスクウの森PJ）や、環研部会の松が原フィールドでの8月開催予定のキッズクラフト用部材の考案を行いました。興味のある部員の皆様一度覗いてみてください。7月参加者33名



磯貝・本廣両元部会長のミーティング



クラフト用ツバキの美天日干し。(カブトムシ・テントウムシ用)



間伐材(200mm 杉皮剥ぎ)



レーシングカー8台(磯貝作) 製作工期2年!



今回はまず、小川フィールドのオーナーの一人でもある新宅さんから、お墓に倒れかかったシラカシの除伐を依頼されていたので、選抜メンバー（北野・富田・坂本・岩田・午後から佐藤）の5名で取り掛かりました。伐倒方向・伐倒方法などを皆で綿密に検討し、木の上に登り、枝を一本一本丁寧にロープを掛け下ろすことにしました。この度は70%の達成で無事終了。その後も引き続き、休憩時間もほどほどに、昼食を済ませすぐに作業に取り掛かりました。

特に、坂本さんは、消防のレスキューの経験を存分に発揮され、木の上の作業の枝落としは、彼がいなければ到底できなかったでしょう。やり残した作業は、引き続き8月に行います。これとは別働隊ですが、倒木処理と除伐作業を波多野副部会長を中心に行いました。また神ノ倉から持ち帰った桜の木のチェーンソー製材を竹原さん主導で行いました。

昼食には、明野さん提供の茄子と胡瓜、新宅さんからは、茄子・胡瓜・西瓜・ドリンクの差入れをいただきました。茄子は焼きナス、キュウリや西瓜は冷やしていただきました。皆さんの暖かい心遣いに感謝です。

今回は、ヒヤリハット報告がありました。2つのグループ（波多野班・岩田班）が、それぞれでチルホール（ロープ）を使い作業を行いましたが、いずれも、チルホール（ロープ）の引きの速さとチェーンソーの切り具合の連携が悪

く、想定通りの伐倒が出来なかった事例が上がりました。

どちらも事故には至りませんでした。チルホールを使って正確な伐倒をするためには、チェーンソーの操作と、チルホール（ロープ）の連携を確実に行うことが大切であり、この事は以前から何度も繰り返し指摘され、指導があったにもかかわらず、未だに確実な操作が出来ていない現状を目の当たりにし、改めてリスクマネジメントに取り組む必要性を強く感じました。参加16名。

次回の里山部会は、8月7日（日）地域貢献活動の防火水槽周りの草刈り、水路清掃を行います（7時50分小川Fに集合）。部会としては、駐車場近辺の草刈りを行いますので、車は駐車場の奥の通路に止めてください。

Before



After

